

第3回 海軍道路の桜並木に関する懇談会

日時：令和3年11月12日（金）16：00～18：00

場所：中屋敷地区センター

議 題

○開会

○議事

- 1 第1回、第2回懇談会での主な意見の整理
- 2 今後のスケジュールと進め方（案）
- 3 意見交換

○閉会

■配布資料

資料1：第1回、第2回懇談会での主な意見

資料2：今後のスケジュールと進め方（案）

既存の桜並木の現状・課題に関する意見

①: 第1回懇談会での意見
②: 第2回懇談会での意見

植栽間隔が狭い
(樹木間、車道からの距離)

- 海軍道路の桜並木は、間隔が狭い。道路のすぐ近くに植えられている。枝を伸ばせず、気の毒な姿になっている。①
- C区間(中瀬谷消防出張所から瀬谷中前交差点)の桜は、苗木の時は植栽間隔について気にならなかったが、成長するにつれて疑問に感じていた。車の出入りの際、視界が悪いと意見が出ている。①
- 瀬谷西高校の隣に植えてあるヨウコウは間隔の狭さを改善する趣旨が込められていない。②

農地との関係

- 農地に影響が出ているので根が張らないものにしたい。①

植栽による視界不良、接触

- 海軍道路では、トレーラーに積んだ重機が桜にぶつかっている。①
- 上瀬谷小学校東側の交差点も、視界が悪く、左折の車と自転車がよくぶつかる。①
- 消防から北側の桜は枝が道路にでている。草丈が大きくなると運転席から見えない。②
- 桜並木の下枝もなかなか刈ってもらえず伸びてしまう。農地に草が入ってきてしまうので、苦情がきている。①

害虫等との関係、台風等による倒木

- 毛虫が海軍道路に落ちる。消毒はきちんとしてほしい。
- 桜は高いところに枝が伸びるので、カラスが巣をつくってしまう。カラスが畑へ行く経路になってしまい、畑にカラスが増えている。①
- 海軍道路のソメイヨシノの台風や害虫等による倒木を危惧している。①

今後の桜並木を考える上での
留意点

海軍道路の桜への思い

- 小さい頃から米軍との交流会などで海軍道路の桜並木や海軍広場を使ってきた。印象に残っている場所。桜がどんどん伐採されていることは非常にさみしい。①
- 全ての桜を伐採し更地にしてしまうと非常にさみしい。瀬谷は通信施設があったこと、空の青と木の緑のコントラストなど、他の場所の桜並木とは異なった趣があると思っている。①
- 桜は印象的で、毎年楽しみにしている名所なので桜がなくなると残念に思う。①

現地
説明会
を終えて

既存の桜の伐採は仕方がない

- 実際に木を見ると、根が歩道に乗り上げていてかわいそうだと感じ、残せないことに納得した。②
- B区間もC区間も現在の桜を存続させるのは難しい。②
- 瀬谷区の名所である桜を残す考えから脱却してもよいかもしれない。②
- 伐採するのであればソメイヨシノの樹形を早く形成させ、間隔が空いてしまった部分にすぐに後継種を植えてほしい。②

ソメイヨシノをレガシーとして残す

- 海軍道路の桜も有名だが、公園の中に桜を植えれば海軍道路に植えなくてもいいのではないかとと思う。①
- 公園の中に名所に匹敵するような桜並木をつくることは検討されたのか。①
- 桜は瀬谷の名物。公園は広いので1000本ぐらいは植えられるはず。観光客も来て、新しい名所になる。①
- 今あるソメイヨシノ全てがもう駄目なのか、残せるものがあるのか。2027年の花博を絡めて、集合体として残せるソメイヨシノがあるならその会場にもっていくという案もあると思う。①
- 桜(特にソメイヨシノ)は日本の心であり瀬谷区のレガシーでもある。そのようなソメイヨシノをレガシーとして残したいという思いがあるのであれば、開発の中で、公園に何本か残せば良いと思う。②

既存の桜の活用

- 伐採するならばやく伐採して、何かレガシーとして残した方が良いと思う。新しくできる駅のベンチなどに使えるよう、元気なうちに切った方が良い。②
- ベンチをつくったり、燻製のチップに活用するのは良い。②

既存の桜の活用に関する
意見

方向性に関する意見

①:第1回懇談会での意見
②:第2回懇談会での意見

誰のために、どのような空間を作るのか。(何を重視するか)

- 誰のためにその空間(海軍道路の桜並木)をつくるのか。桜のトンネルを写真として収めるために作り直すなら、大きい木を植えなければならない。しかし歩行者の散歩のためであれば、近くに感じられるように低いものでもいい。②
- 海軍道路の桜が街路樹としてどうあるべきかを考えるべき。②

今までの桜の継承(由来や思い)

- もし桜をなくしたあとで、後の世代にやっぱり桜がよかったといわれると困る。生活に根付いた意見が多いが、今までの由来や思いを継承していくことについては重要視されないのだろうか。①

樹木の成長・大きさを考える(樹木としての視点)

- 苗木を植えた当時、20年先を見据えなかったことが残念。人間のせいでも桜の成長を阻害してしまった。①
- 道路のすぐ近くに植えられている桜は枝を伸ばせず、気の毒な姿になっている。①

安全で明るい通学路、歩行空間(生活道路)

- これからたくさん関係者が来て交通量も増える。できるだけ早く桜を切って、安全な通学路を確保してほしい。①
- C区間の東側の広い歩道幅をキープしてほしい。①
- 海軍道路は夜になると真っ暗なので、瀬谷中学校に通う子どもたちは通りたがらない。なんとか明るい道で帰らせてあげたい。①

今後の桜並木を考える上で重視する視点

各区間の特性を踏まえて検討

- 区間に合ったものを選んで植えれば名所になる。①

B区間への桜

- B区間には別の桜を植えてはどうか。①
- B区間には立派な桜を植えて桜並木をつくってほしい。①
- B区間は桜を残したい。①
- B区間は桜で品種を変えて4月(学校の入学式の時期)に咲くようにしてあげることが大人の使命。①

A,B区間とC区間の違い

- C区間は住宅地があるので、低めの桜か別のものを植栽する。①
- ※詳細は右上の樹種に関する意見を参照

区画別に特性が異なる

管理面

- できるだけ管理に手間がかからないような樹種②
- 新たに拡幅した道路に桜を植える場合、大きくなりすぎる前に植え替えるなどの工夫が必要。②

大型化しない樹種

- 消防署北側の芝生の中にあるヨウコウは、ソメイヨシノと同じ時期に植えたものだが、太くなっていない。植えるならヨウコウの方がいいと思う。①
- 大型化する樹木を街路樹として植えるという植栽方針に疑問。①

ヨウコウの花の色

- ヨウコウはソメイヨシノの淡い色のイメージに対してピンク過ぎる。①
- ヨウコウは色が桜らしいと思えない。コシノヒガンサクラやジンダイアケボノの方がソメイヨシノに近い色のように思える。①

C区間の樹種

- C区間は住宅や商店があり、虫の被害と落ち葉掃除が大変なので桜ではないものにしてほしいという意見を聞いている。①
- C区間に桜を植えることは反対。桜以外にも落葉、落下するものも植えるべきでない。基本的には常緑樹が良い。②
- 近隣に迷惑をかけないような常緑樹などにしたい方がいい。②
- C区間の西側にヨウコウを植えることには反対②

樹種に関する意見も踏まえて検討

アンケート調査について

- 街路樹に関しては、まず並木をつくることをみんなが賛成しているのか、事務局としては街路樹を整備するのは決定していることなのか、ということ、桜の樹種の議論の前にきちんとしてから議論していきたい。①
- 街路樹を残すのか、または残せるものを残して間を空けておくという案なども含めて、区民のアンケートを取るなどして、根幹をきちんと見定めて進めていくべき。①
- アンケートは反対である。アンケートをとった場合、道路沿いに住んでいない人は絶対に桜に賛成する。②
- アンケートは沿道の住民とそれ以外の人にきちんと分けられよいのではないかと考える。あとは街路樹になにが適切か、瀬谷区のシンボル、レガシーとしてどう残すか考えるべき。②

- 第1回、第2回懇談会を踏まえて、今後は以下のような進め方と、A,B区間の考え方(案)において検討を進めます。

1 海軍道路の将来の考え方(何を重視するか)

- 今までの桜の継承（由来や思い）
- 樹木の成長・大きさを考える（樹木としての視点）
- 安全で明るい通学路、歩行空間（生活道路）



第2回現地説明会の様子

2 区間ごとに特性が違い、重視するポイントが異なる

- それぞれの区間の特性
- A,B区間とC区間（住宅や商店等）の違い

B区間への桜

- B区間には別の桜を植えてはどうか。
- B区間には立派な桜を植えて桜並木をつくってほしい。など

C区間の樹種

- C区間は住宅や商店があり、虫の被害と落ち葉掃除が大変なので桜ではないものにしてほしいという意見を聞いている。
- C区間に桜を植えることは反対。桜以外にも落葉、落下するものも植えるべきでない。基本的には常緑樹が良い。など

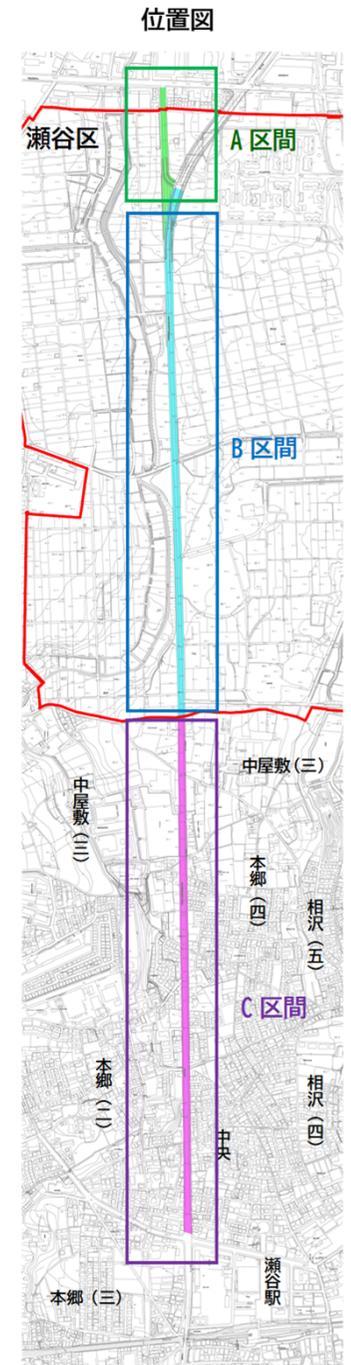
3 今後の進め方と、A,B区間の考え方(案)

(1) 今後の進め方

- 海軍道路の特性を踏まえて、今後はA,B区間とC区間を分けて検討を進めます。

(2) A,B区間の考え方(案)

- A,B区間は、今までの懇談会でのご意見や、区民意識調査、桜並木の歴史等を踏まえて、海軍道路の桜並木を植え替えることで、新たな桜並木を創出していきます。



(仮称) 旧上瀬谷通信施設地区
土地区画整理事業区域

	2021年度 (R3)						2022年度～2026年度 (R4) (R8)		2027年度 (R9)
	1 海軍道路の桜並木に関する懇談会	第1回懇談会 7/30	第2回懇談会 (現地説明会) 10/26	第3回懇談会 11/12	第4回懇談会 (12月)	第5回懇談会 (1月)	第6回懇談会 (3月)	第7回懇談会 (4月)	令和4年度以降
懇談会の目的 桜並木の現状・課題 桜並木に関する方向性 (案)の提示 今後のスケジュール		桜並木の現状・問題点等を現地に説明	第1回懇談会、現地説明会での主な意見 各区間の樹種と考え方の(案)を提示 今後のスケジュールと進め方(案)の提示	第3回懇談会での主な意見 第3回懇談会での意見交換を踏まえた整備イメージ(案)の提示 A,B区間の樹種(案)の提示 C区間の考え方(案)の提示	第4回懇談会での主な意見 第4回懇談会での意見交換を踏まえた整備イメージ(修正案)の提示 A,B区間の整備イメージ(案)の提示 C区間の樹種(案)の提示	第5回懇談会での主な意見 桜並木再生等の整備方針のまとめ A,B区間の整備イメージ(修正案)の提示 C区間の整備イメージ(案)の提示	第6回懇談会での主な意見 C区間の整備イメージ(修正案)の提示	「桜並木再生等の整備方針」の策定	記憶の保全事業 整備計画の詳細な検討等
	第1回から第3回までのご意見を踏まえたうえで案を提示 ○樹種 ・管理面 ・大型化しない樹種 ・海軍道路の桜への思い ・C区間の樹種 ・ヨウコウの花の色など			各回で頂いたご意見を踏まえたうえで案を提示 ○樹種 ・管理面 ・大型化しない樹種 など ○留意事項 ・植栽間隔が狭い・農地への関係 ・植栽による視界不良、接触 ・害虫等との関係、台風等による倒木 ・海軍道路の桜への思い ・既存の桜の伐採は仕方がない など			「既存の桜の活用」等のご意見を踏まえたうえでの検討を予定		
2 国際園芸博覧会	博覧会の開催検討						会場計画設計等	施設整備	国際園芸博覧会の開催 令和9年3月から9月
								イベント	
3 (仮称)旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業(環状4号拡幅整備含む)	法手続き・事業計画・設計等						工事		工事